

上出来 *BEST* 8



# 出来形管理システム 操作手順書



# 【目次】

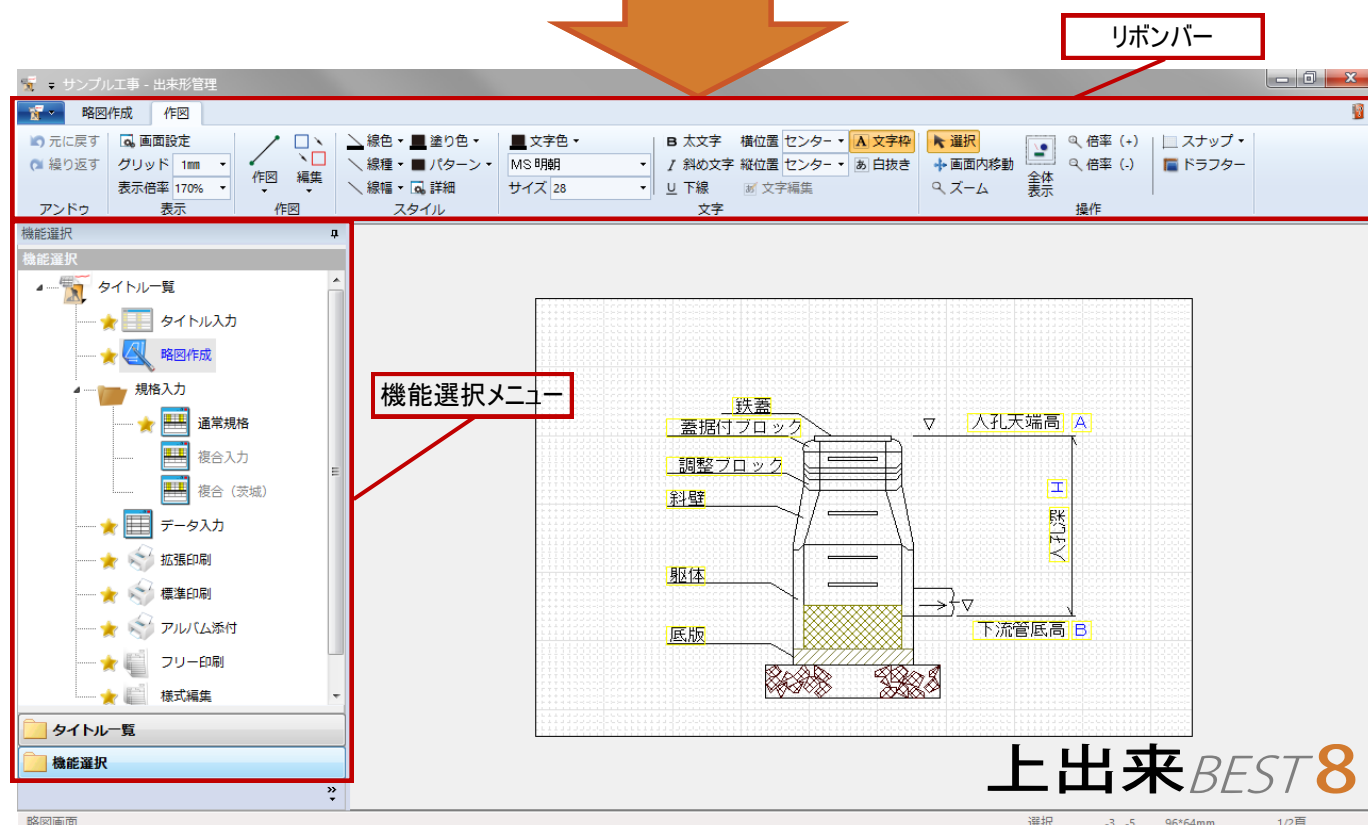
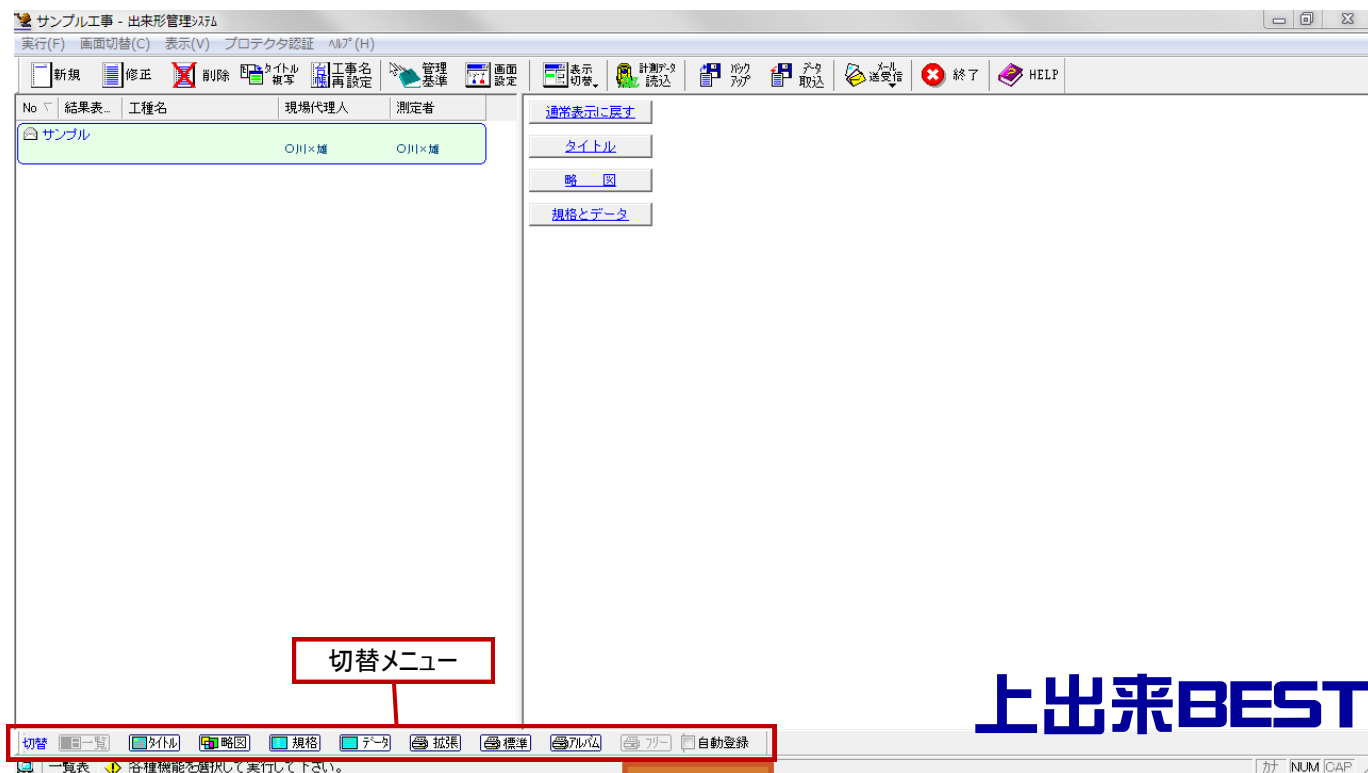
1. 旧バージョンとの違い
2. 出来形管理の操作手順
  - ・新規作成
  - ・タイトル入力
  - ・略図作成
  - ・規格入力
  - ・データ入力
  - ・拡張印刷
3. 様式編集

# 1 旧バージョンとの違い

新しい「上出来BEST8」と旧バージョンとの大きな違いは、旧バージョン下部にあった【切替】メニューが無くなり、左側に【機能選択】として大きく表示されます。

また、新バージョンではOS環境の進化に対応し、ツールバーにリボン機能の採用やツリー画面やアイコンを大きくするなど、システム全体の操作を向上することが出来ました。

では、次の章から出来形管理の操作手順について説明してまいります。



## 新規作成

## 出来形管理を起動する

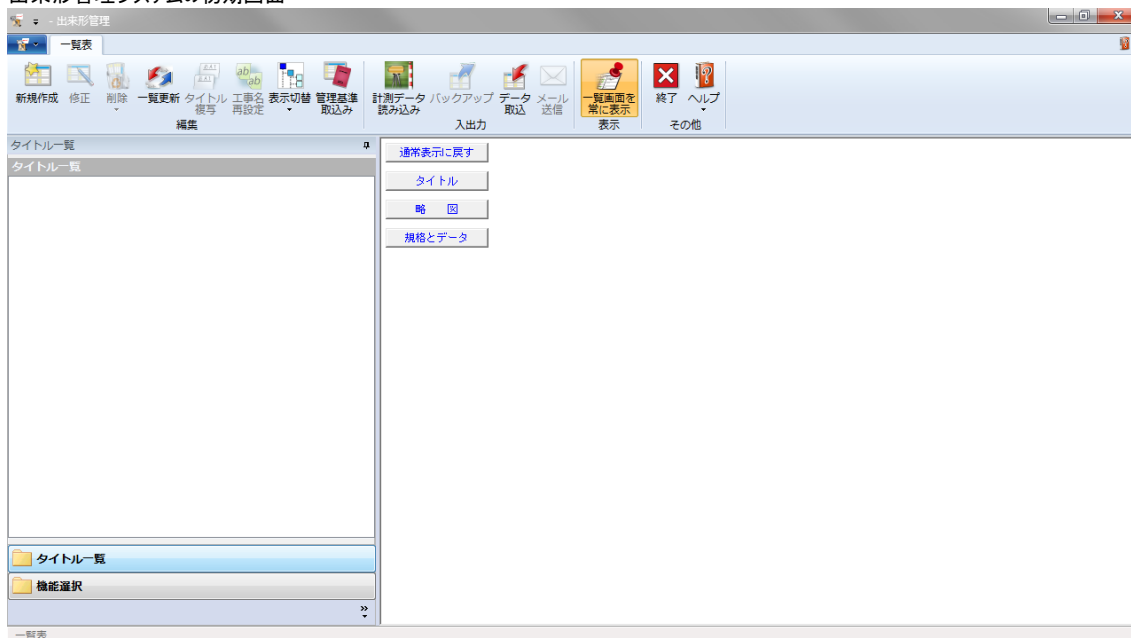
台帳管理から出来形管理をダブルクリックして、出来形管理システムを起動します。



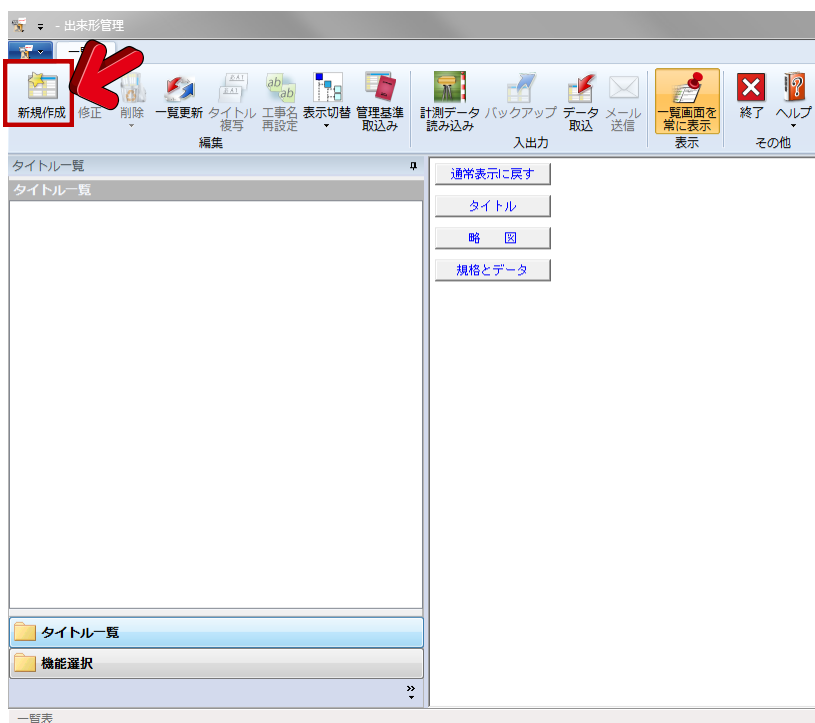
出来形管理のアイコン



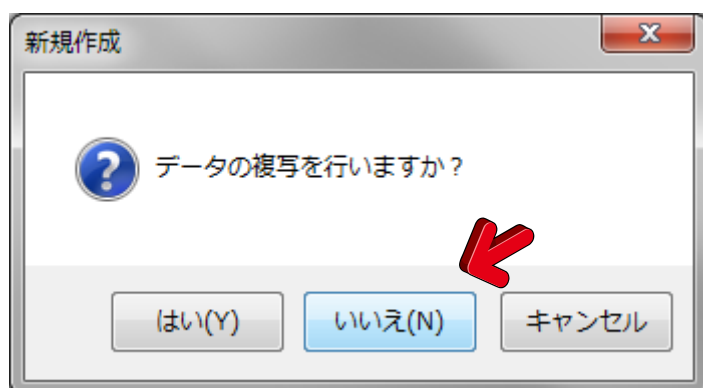
## 出来形管理システムの初期画面



## 新規作成



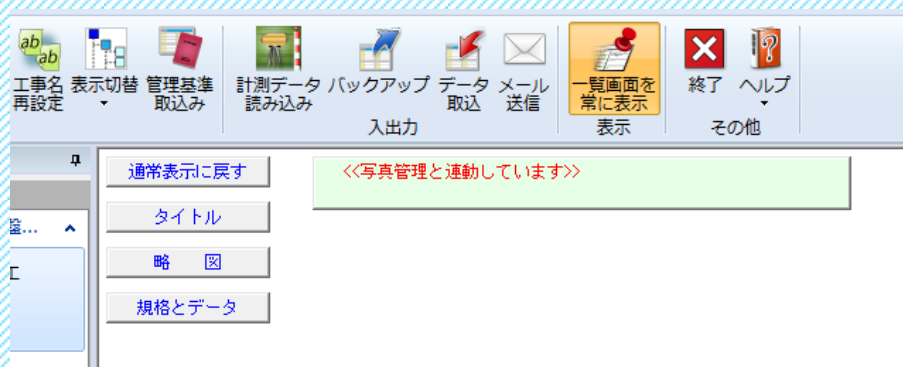
出来形管理が起動したら、新規作成で新しい管理項目を作成します。



【新規作成】ボタンを押すと、「データの複写を行いますか?」というメッセージボックスが起動してきます。これは、以前作成したデータを利用して、略図や規格項目を複写しますかという内容で、以前、同様の工種について出来形管理をし、略図や規格項目を利用したい場合は【はい】を、略図や規格項目を自分で初めから作成していく場合は【いいえ】を選択して下さい。ここでは、新しく略図や規格項目を作成していきますので【いいえ】をクリックして下さい。

### 💡 ワンポイントアドバイス

写真管理と連動したデータの場合【タイトル一覧】画面の右側に「<<写真管理と連動しています>>」というメッセージが表示されます。



## タイトル入力

結果表名称

工事名 サンプル工事

請負者

工種

種別

細別

測定者

主任技術者

工事事業所

出張所

監督官

備考1

備考2

備考3

備考4

備考5

測点

現場代理人

【新規作成】ボタンを押すと、自動的に【機能選択】メニューに切り替わり、【タイトル入力】画面に移動します。

【タイトル入力】画面では工事名や請負者名等、出来形結果表に必要な項目を入力します。

結果表名称 コンクリートブロック基礎

工事名 サンプル工事

請負者 株式会社〇〇建設

工種 ブロック構工

種別 コンクリートブロック工

細別 コンクリートブロック基礎

測定者 〇川×雄

主任技術者 〇川×雄

工事事業所

出張所

監督官

備考1

備考2

備考3

備考4

備考5

測点

現場代理人 〇川×雄

結果表名称はファイル名の様に後で再選択する場合にそれと解る名前を付けましょう。

【タイトル入力】の入力項目は、□枠の項目は台帳管理で入力している場合、自動的に読み込まれますので、□枠のみの入力です。事前に台帳管理項目を埋めておく事をお勧め致します。

※出来形作成後に入力された項目は自動的に反映することはできません

サンプル工事 - 出来形管理

登録 環境設定 初期化 上移動 下移動 終了

出来形管理

データを保存しました。

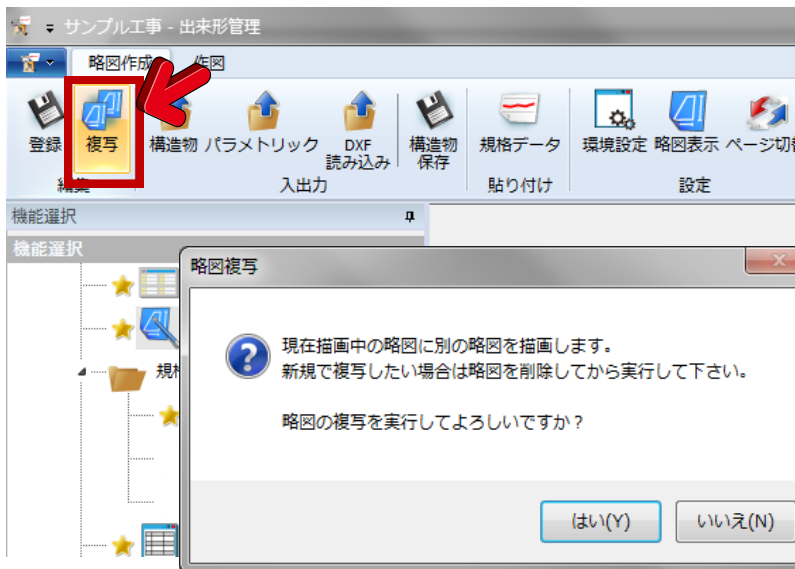
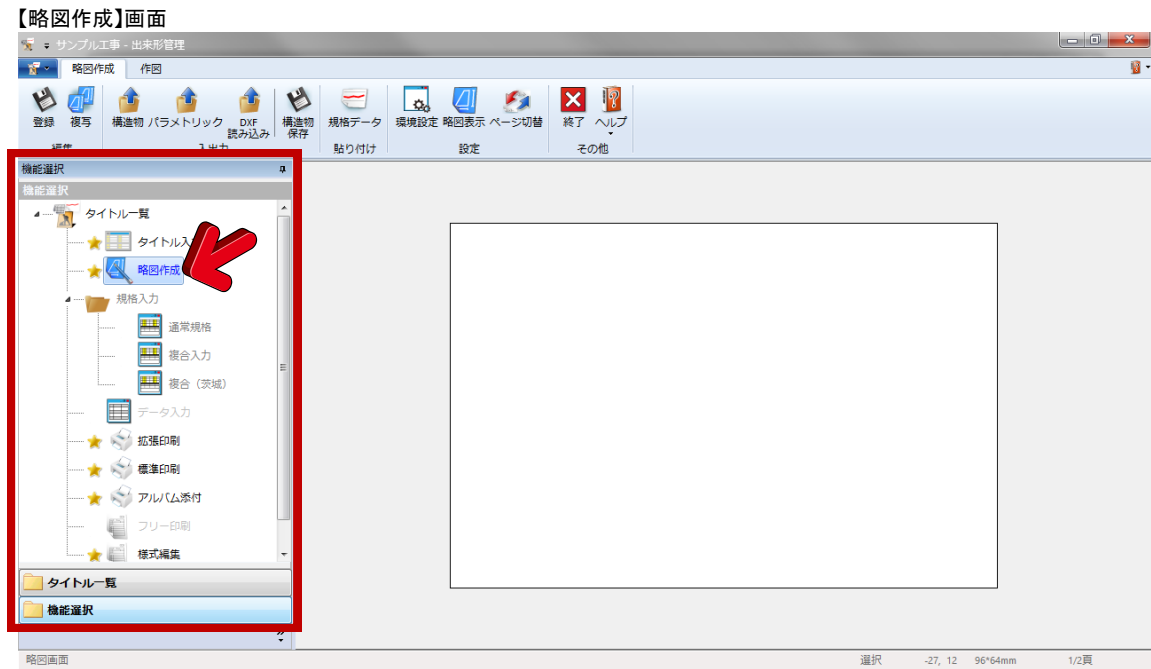
OK

【タイトル入力】欄の必要項目を入力したら、必ず右上の【登録】ボタンをクリックして下さい。クリックして初めて次の操作に移る事ができる様になります。

【登録】ボタンを押すと、「データを保存しました。」とメッセージが表示されデータが登録されます。

## 規格入力

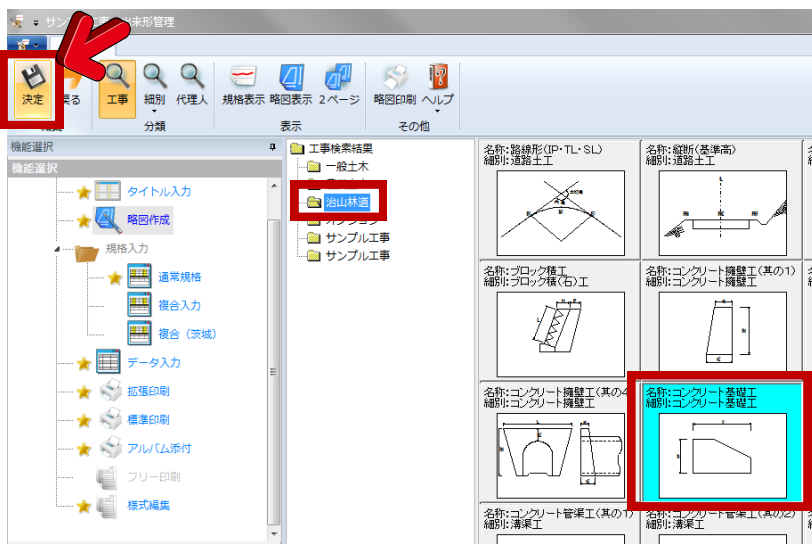
画面左の【機能選択】欄より【略図作成】を選択し、略図作成画面に移ります。



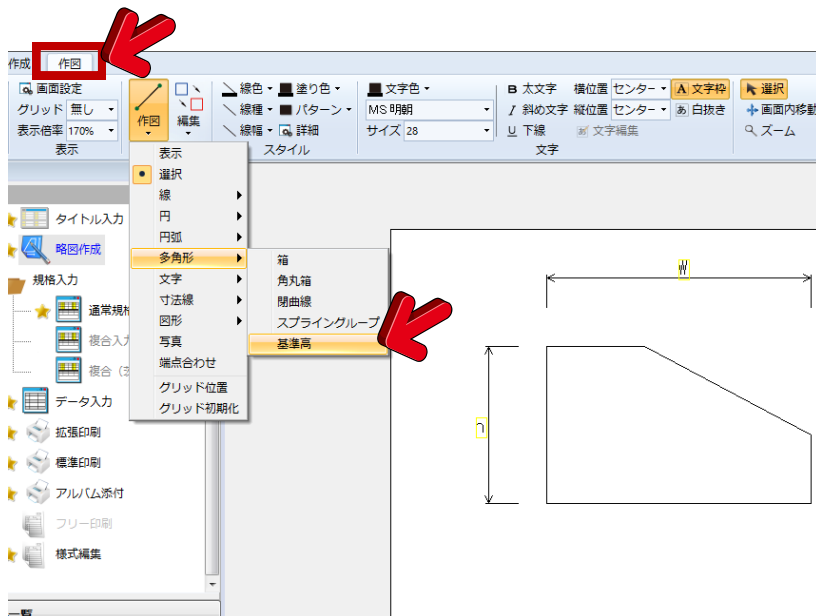
今回はサンプル略図から略図を取込み加工してみます。

まず【複製】ボタンを押し、サンプル略図のリストを呼び出します。

【複製】ボタンを押すと左図のようなメッセージが出てきますが、今回は新規で略図を呼び出しますので、「はい」を選択してください。

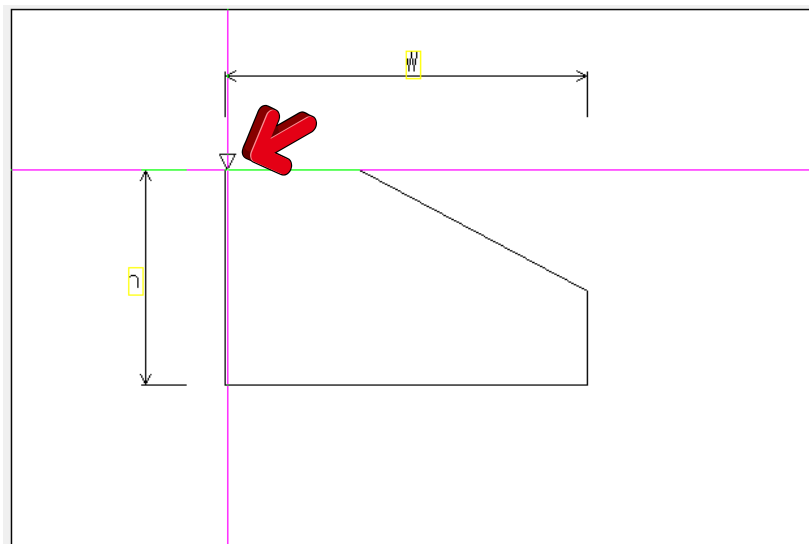


呼び出されたサンプル略図の中から、【治山林道】→【コンクリート基礎工】を選択しダブルクリック、若しくは左上にある【決定】ボタンを押してください。



リボンバーを【略図作成】から【作図】に変更し、作図に必要なボタンを表示させます。

【作図】→【多角形】→【基準高】を選択します。

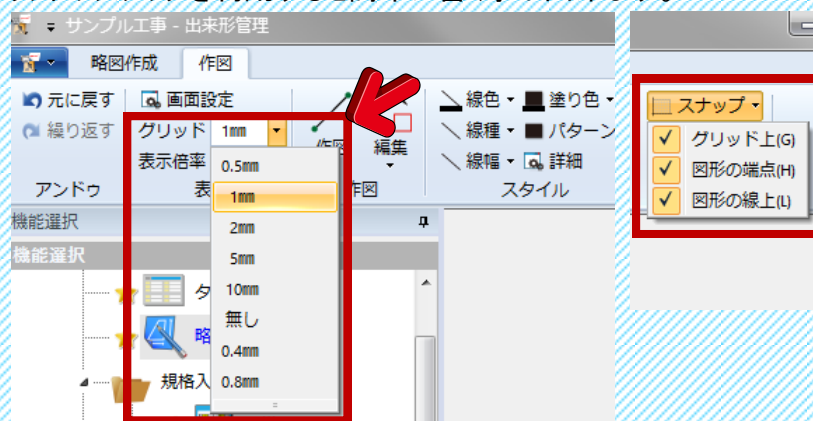


基礎上部に基準高の▽マークを設置します。



## ワンポイントアドバイス

略図を書く際には、グリッドやスナップを利用すると簡単に書く事が出来ます。

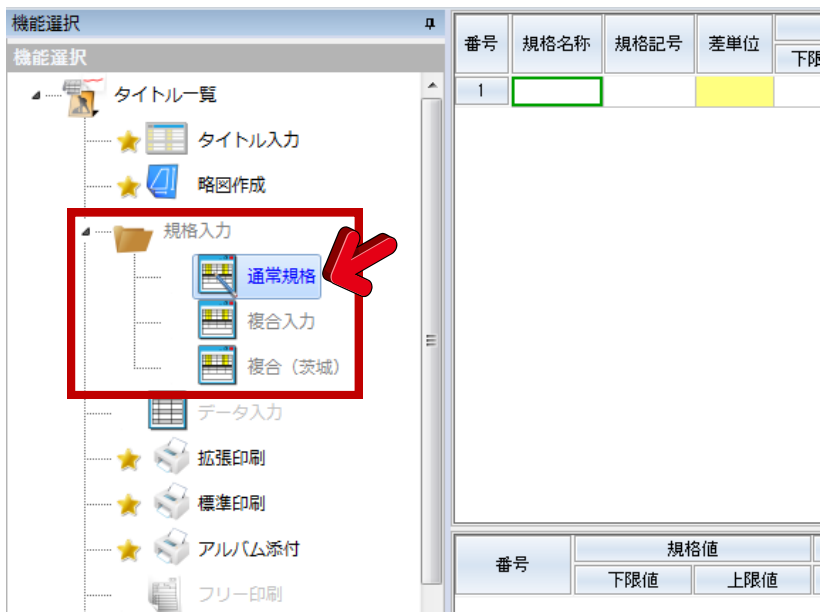
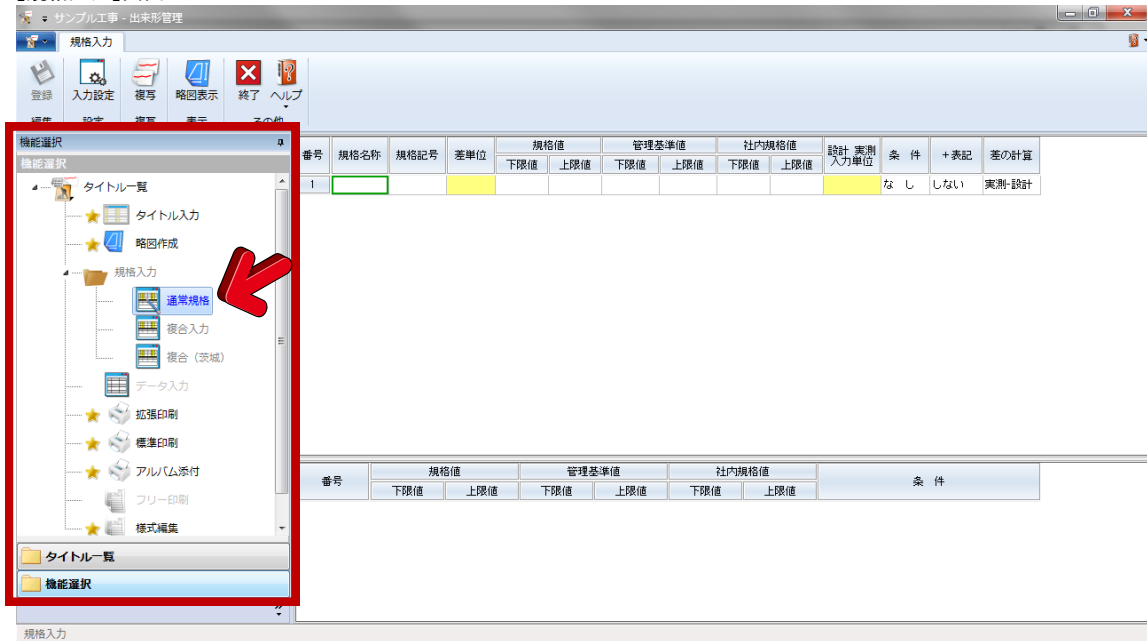




## 規格入力

規格入力を行う場合は、画面左側の【機能選択】欄より【記入入力】を選択します。

【規格入力】画面

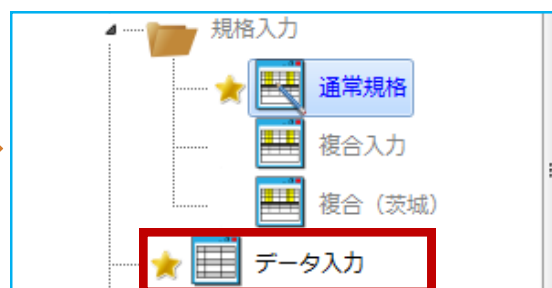


規格入力では「通常規格」「複合入力」「複合（茨城）」の3種類がありますが、従来通りの出来形管理を作成する場合は「通常規格」を選択して下さい。

では、下図の内容を入力してみましょう。

規格項目を入力する事で、【データ入力】が選択できるようになります。

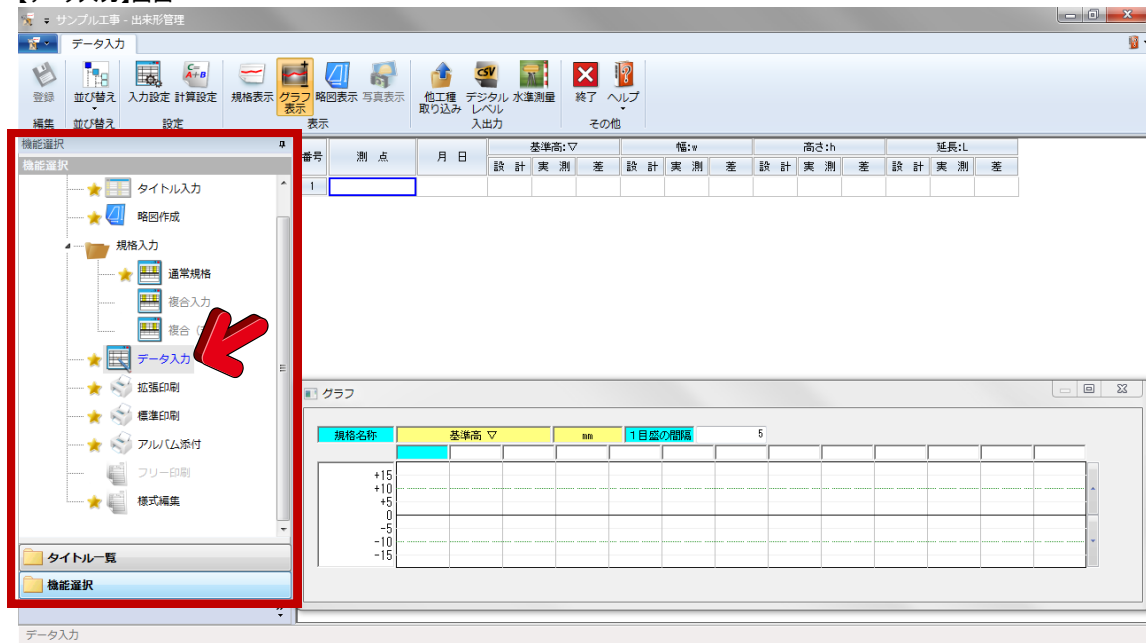
番号	規格名称	規格記号	差単位	規格値		管理基準値		社内規格値		設計実測入力単位	条件	+表記	差の計算
				下限値	上限値	下限値	上限値	下限値	上限値				
1	基準高	▽	mm	-30	+30			-24	+24	mm	なし	しない	実測-設計
2	幅	w	mm	-30				-24		mm	なし	しない	実測-設計
3	高さ	h	mm	-30				-24		mm	なし	しない	実測-設計
4	延長	L	mm	-200				-160		mm	なし	しない	実測-設計



## データ入力

データ入力を行う場合は、画面左側の【機能選択】欄より【データ入力】を選択します。

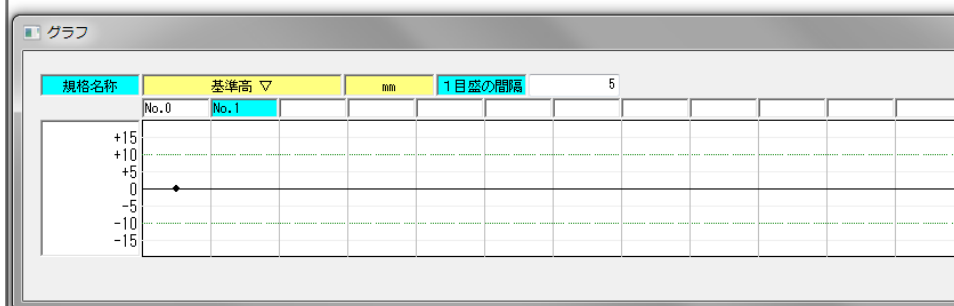
【データ入力】画面



番号	測点	月日	基準高:▽			幅:w			高さ:h			延長:L		
			設計	実測	差	設計	実測	差	設計	実測	差	設計	実測	差
1	No.0		10000	10000	0	500	500	0	300	300	0	20000	20000	0
2	No.1		10000			500			300			20		

データ入力画面では実際に計測した結果を各測点毎に入力します。

まずは、1行入力してみましょう。



番号	測点	月日	基準高:▽			幅:w			高さ:h			延長:L		
			設計	実測	差	設計	実測	差	設計	実測	差	設計	実測	差
1	No.0		10000	10000	0	500	500	0	300	300	0	20000	20000	0
2	No.1		10000	10001	+1	500	499	-1	300	299	-1	20000	19999	-1
3	No.2		10000	10000	0	500	499	-1	300	299	-1	20000	20001	+1
4	No.3		10000	9999	-1	500	500	0	300	299	-1	20000	19999	-1
5	No.4		10000	10001	+1	500	501	+1	300	301	+1	20000	20001	+1

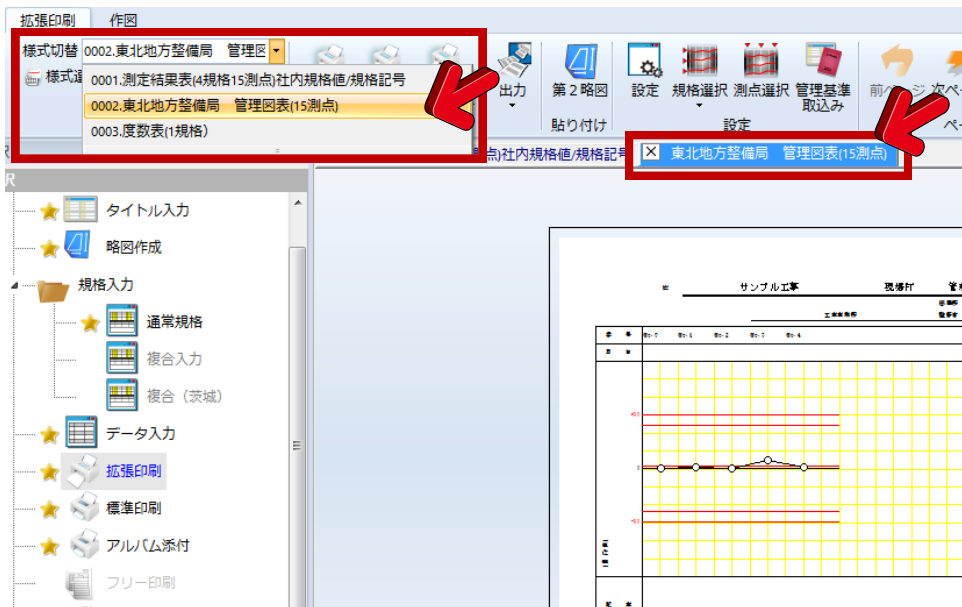
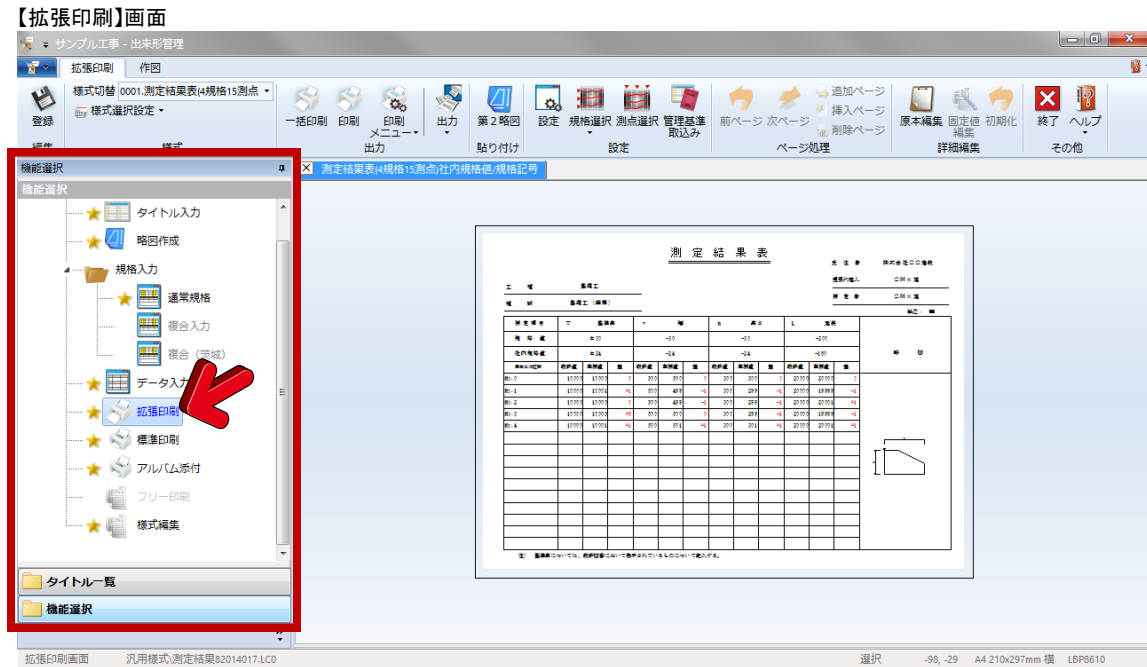
リボンバーにある【グラフ表示】ボタンで、グラフ画面を表示することが出来ます。

今回は、グラフのNo.0ポイントからマウスをドラッグしてデータを作成してみます。



## 拡張印刷

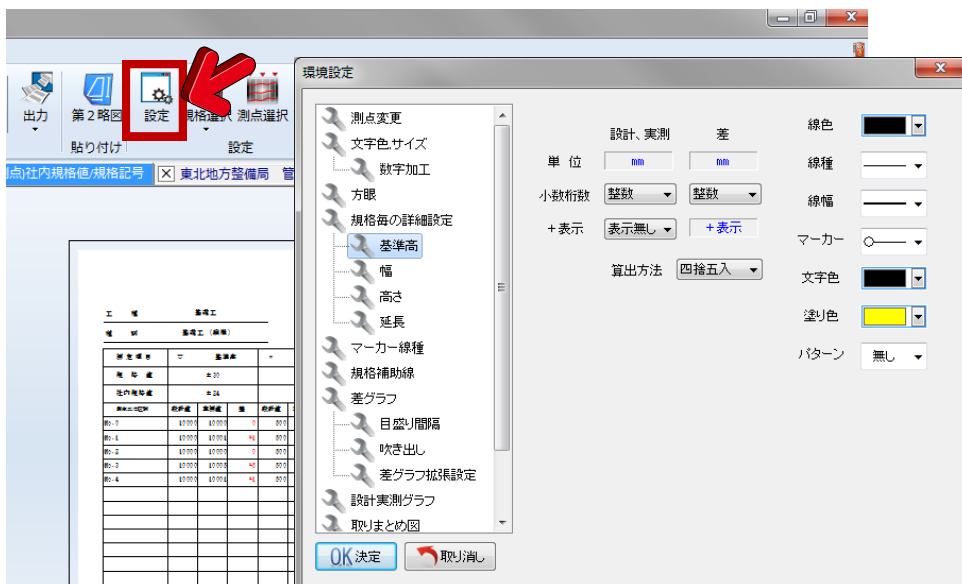
拡張印刷を行う場合は、画面左側の【機能選択】欄より【拡張印刷】を選択します。



以前のバージョンでは様式切替で印刷書式を変えるものでしたが、新バージョンでは【様式選択設定】で必要な書式を選択し、【様式切替】で選択する事で、印刷書式を必要なだけ増やすことが可能になりました。

【様式切替】より2番目の書式を選択することで、画面右側に新しい印刷書式が増えていきます。

この設定は始めの結果表で設定する事で次から作成される出来形結果表に反映されます。



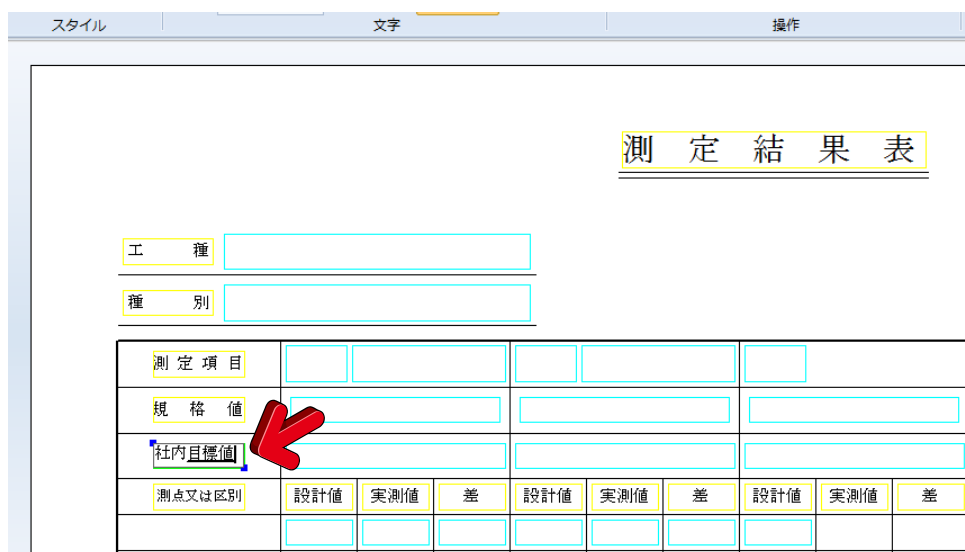
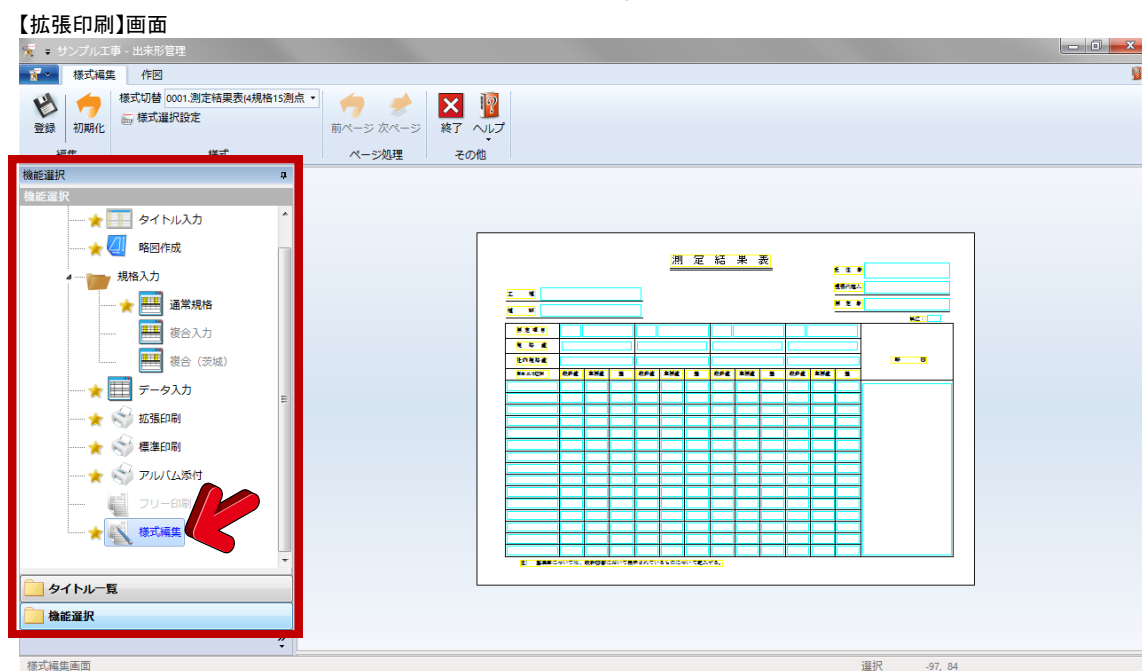
また、新バージョンから各規格と規格色やマーカ等が個別に設定できる様になりました。

リボンバーの【設定】ボタンから設定画面を表示させ、左のメニューから規格名称を選択することで、各規格の設定が行えます。

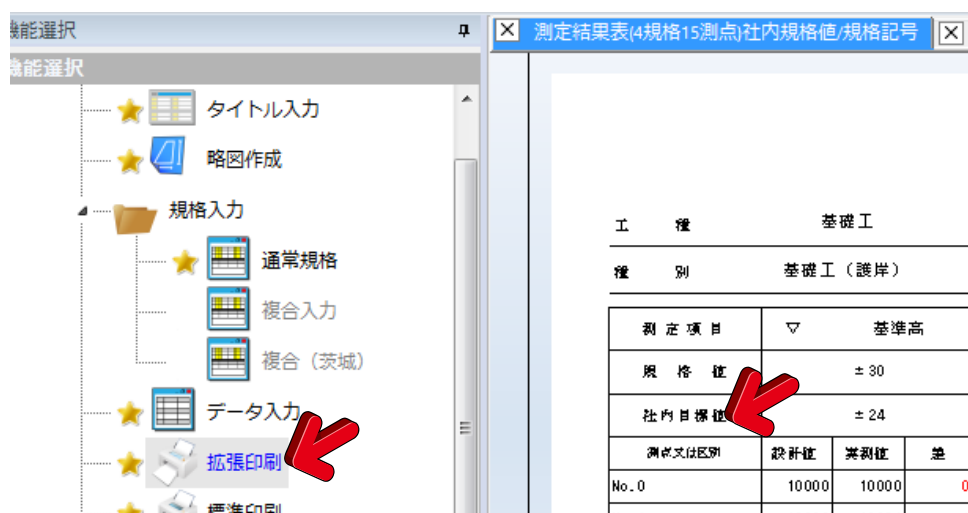
## 3

## 様式編集

新しい「上出来BEST8」では従来の書式の微調整が可能になりました。  
様式を編集する場合は、画面左側の【機能選択】欄より【拡張印刷】を選択します。



様式編集では固定箇所の修正や移動が可能です。  
測定結果表の「社内規格値」を「社内目標値」に変更してみます。



拡張印刷に戻り、先程編集した書式を確認してみると、「社内目標値」に変更されている事がわかります。